

---

---

# ご挨拶

---

---

謹啓 時下益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

この度、The 7th Asia-Pacific Symposium On RadioChemistry (APSORC22)を2022年9月11日（日）～16日（金）の日程で福島県郡山市（ホテルハマツおよび郡山市公会堂）にて開催することとなり、現在鋭意準備を進めております。

The Asia-Pacific Symposium On RadioChemistry (APSORC)は、1997年以来、4年に1度開催されるアジア・環太平洋地域の研究者が集う放射化学全般に関する国際研究集会です。日本で開催される際には、日本放射化学会が母体となり組織委員会を構成しております。この度、APSORC21として日本では8年ぶり4度目の開催をいたします。核・放射化学、原子核物理学、宇宙地球化学、医学・薬学、核鑑識、福島原発事故等、放射化学全般および学際領域を含めた幅広い分野の研究の交流の場として開催されます。前回の日本開催時（金沢市）には、26か国より350名を超える研究者が参加いたしました。

本来ならば、大会の開催におきましては、参加費にてまかなうべきところですが、本会の目的を達成するには会場の設営や総会の運営に多大の費用を要し、諸費用の不足が予想されております。つきましては、諸般厳しい状況の中、甚だ恐縮ではございますが、本会の開催の意義と事情をご賢察の上、格別のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆となりますが、貴社の今後の益々のご発展と関係各位のご活躍をお祈り申し上げます。

謹白

一般社団法人日本放射化学会  
会長 篠原 厚

APSORC22 組織委員会  
委員長 高橋 嘉夫

## 1. 会議の名称

The 7th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry

略称：APSORC22

## 2. 主催・後援

主催：一般社団法人日本放射化学会

APSORC22 組織委員会

共催：公益社団法人日本化学会

公益社団法人日本分析化学会

公益社団法人日本薬学会

一般社団法人日本原子力学会（予定）

後援：公益社団法人日本アイソトープ協会、日本地球惑星科学連合（予定）、一般社団法人日本地球化学会（予定）、一般社団法人日本核医学会（予定）、一般社団法人日本結晶学会、一般社団法人日本保健物理学会、一般社団法人日本温泉科学会、一般社団法人日本放射線安全管理学会、日本希土類学会、日本中間子科学会（予定）、錯体化学会、日本陽電子科学会、日本中性子科学会（予定）、放射化分析研究会、メスバウアー分光研究会（予定）、日本イオン交換学会、日本 AMS 研究協会、日本溶媒抽出学会、タンデム加速器及びその周辺技術の研究会、NPO 法人放射線教育フォーラム（予定）、NPO 法人放射線安全フォーラム

## 3. 開催時期

主会議：2022年9月11日（日）～16日（金）[6日間]

（開会式：2022年9月12日）

展示：2022年9月12日（月）～16日（金）[5日間]

## 4. 開催場所

ホテルハマツ

〒963-8578 福島県郡山市虎丸町3-1 8

郡山市公会堂

〒963-8876 福島県郡山市麓山1丁目8-4

## 5. 参加予定者数

26 か国/地域、350 人

（前回実績）オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、クロアチア、チェコ、フィンランド、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、韓国、ロシア、サウジアラビア、スロバキア、スウェーデン、スイス、台湾、イギリス、アメリカ合衆国、日本

## 6. 会議の意義と開催目的

The Asia-Pacific Symposium On RadioChemistry (APSORC)は、1997年以來、4年に1度開催されるアジア・環太平洋地域の研究者が集う放射化学全般に関する国際研究集会です。日本では、2013年以來8年ぶり4度目の開催になります。

放射化学は、放射性物質の性質および化学反応を研究対象とする学問分野です。現代の放射化学は学際研究の性格が強く、関連分野として放射線化学、無機・分析化学、宇宙・地球化学、素粒子・核・原子物理学、放射線物理学、保健物理学、加速器科学、材料科学、環境科学、放射線生物学、核薬学、核医学、放射線医学などがあります。

この会議の日本開催は、我が国の研究者が、この分野における世界のコミュニティに果たす責務であると考えており、貢献をアピールできる絶好の機会です。また、学生を含む国内の多くの研究者をレベルの高い学術活動への参画を促し、本研究分野をさらに発展させる契機となることを祈念しております。

## 7. 予定セッション

### Special sessions

- S1. Kimura Award & Plenary talks
- S2. Symposium for nuclear and radiochemical sciences in future
- S3. 11 years from Fukushima NPP accident
- S4. Evolution of the Periodic Table of the Elements including Nihonium
- S5. Radiopharmaceuticals and mediclinal chemistry
- S6. Decommissioning of Fukushima Daiichi NPP and Scientific basis for waste managements

### Regular sessions

- R1. Nuclear Chemistry
- R2. Radioanalytical Chemistry
- R3. Chemistry of actinides and other radionuclides
- R4. Nuclear probes
- R5. Environment and earth
- R6. Basic Sciences for Nuclear Energy
- R7. Education and Radiation Management
- R8. Nuclear forensics and safeguards
- R9. New techniques

## 8. 会議日程

2022年9月11日～16日

	午前	午後	夜
2022年9月 11日(日)	-	市民講演会 ウェルカムパーティー	アイスブレイカー
2022年9月 12日(月)	オープニング Hevesy賞・木村賞授賞式 プレナリーセッション	オーラルセッション	ポスター セッション
13日(火)	オーラルセッション プレナリーセッション	オーラルセッション	ポスター セッション
14日(水)	オーラルセッション プレナリーセッション 福島第一原発見学(予定)	オーラルセッション 福島第一原発見学(予定)	ポスター セッション
15日(木)	オーラルセッション プレナリーセッション	オーラルセッション	バンケット
16日(金)	プレナリーセッション オーラルセッション 福島第一原発見学(予定)	オーラルセッション 放射化学討論会 福島第一原発見学(予定)	-

## 9. ホームページ

<http://www.radiochem.org/apsorc2022/>

## 10. 会議主催者代表・連絡先

### 1) 主催学会

一般社団法人日本放射化学会

会長 篠原厚

〒319-1195 茨城県那珂郡東海村白方2-4

日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター 浅井 雅人 気付

日本放射化学会事務局

### 2) 設置委員会

APSORC22 組織委員会

委員長、APSORC-IC Chair

篠原 厚 大阪大学

委員長

高橋 嘉夫 東京大学

副委員長(庶務)

桧垣 正吾 東京大学

副委員長(財務)

坂口 綾 筑波大学

副委員長(プログラム部会長)

久保 謙哉 国際基督教大学

副委員長 (プログラム部会長)	羽場 宏光	理化学研究所
副委員長 (プログラム部会長)	木下 哲一	清水建設
副委員長 (木村賞、Hevesy 賞、特別企画)	薬袋 佳孝	武蔵大学
副委員長 (プロシーディング)	松尾 基之	東京大学
副委員長 (オンライン対応)	高宮 幸一	京都大学
副委員長 (渉外・企画・国際対応)	北澤 孝史	東邦大学
副委員長 (広報・市民講演会)	田上 恵子	量子科学技術研究開発機構
副委員長 (LOC 委員長、会場)	鷺山 幸信	福島県立医科大学
副委員長 (エクスカーション、LOC)	佐藤 志彦	日本原子力研究開発機構
副委員長 (広報関連、LOC)	桐島 陽	東北大学
副委員長 (ネット関連、LOC)	金子 政志	日本原子力研究開発機構
副委員長 (寄付)	北辻 章浩	日本原子力研究開発機構
副委員長 (監事)	酒井 陽一	大同大学
委員 (会場)	蓬田 匠	日本原子力研究開発機構・東大
委員 (委員会運営)	山口 瑛子	日本原子力研究開発機構・東大
アドバイザー	渡邊 雅之	日本原子力研究開発機構
APSORC-IC Secretary	横山 明彦	金沢大学

#### プログラム部会

久保 謙哉	国際基督教大学
羽場 宏光	理化学研究所
木下 哲一	清水建設
五十嵐 康人	京都大学
薬袋 佳孝	武蔵大学
篠原 厚	大阪大学
田上 恵子	量子科学技術研究開発機構
塚田 和明	日本原子力研究開発機構
三浦 勉	産業技術総合研究所
北辻 章浩	日本原子力研究開発機構
桐島 陽	東北大学
緒方 良至	名古屋大学
宮本 ユタカ	日本原子力研究開発機構
鷺山 幸信	福島県立医科大学

#### 国際組織委員会 APSORC-IC

Chair	A. Shinohara	Japan
Vice-chairs	A. Chatt	Canada
	Y. Nagame	Japan
Secretary General	A. Yokoyama	Japan
Members	J. Bennett	Australia
	A. Chatt	Canada

	Y. L. Zhao	China
	Z. F. Chai	China
	P. Pujari	India
	A. Mutalib	Indonesia
	M. Ebihara	Japan
	A. Yokoyama	Japan
	T. Nakanishi	Japan
	Y. Nagame	Japan
	H. Haba	Japan
	Y. Takahashi	Japan
	K.S. Song	Korea
	Y. H. Chung	Korea
	J. Y. Yeon	Korea
	S. N. Dmitriev	Russia
	V. P. Kolotov	Russia
	K. Boonsirichai	Thailand
	S. B. Clark	USA
Honorary members	Y. Maeda	Japan
	Y. F. Liu	China
	D. C. Hoffman	USA
	M. Yamamoto	Japan
	T. Kishikawa	Japan
Fellows	H. Kudo	Japan
	X. Y. Wang	China
	S. B. Manohar	India
	V. Vengupal	India
	D. N. Suglobov	Russia
	C. Chung	Taiwan
	K. S. Park	Korea

### 3) 本大会についての事務上の連絡先

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-11-16

東京大学アイソトープ総合センター 内 APSORC22 組織委員会事務局

桧垣 正吾

E-mail : [info-apsorc@ric.u-tokyo.ac.jp](mailto:info-apsorc@ric.u-tokyo.ac.jp)

Tel : 080-3935-5589

# 企業協賛・出展 募集要項

一般社団法人日本放射化学会では、放射化学に関する最新の成果をアジア太平洋諸国と共に発信する機会として、APSORC (Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry) を 1997 年に初めて開催いたしました。以降 4 年に一度、アジア太平洋諸国を開催国として行われてきました。第 7 回目の APSORC として APSORC22 を 2022 年 9 月 11 日～16 日の 6 日間、福島県郡山市で開催する準備を現在進めております。

本大会では、国内外から 300 名を超える参加者が見込まれます。貴社の製品やサービスを直接紹介でき、最先端の放射化学および関連領域の研究開発を結びつける機会になります。また、ご要望に応じて、ランチョンセミナーの開催も可能です。詳細はお問い合わせください。

つきましては、貴社におかれましても、本学術大会の趣旨をご理解いただき、大会の運営へのご支援を賜りたく、下記のとおり謹んでお願い申し上げます。なお、APSORC22 の趣旨、内容および申込等の詳細につきましては学会ホームページをご覧ください。<http://www.radiochem.org/apsorc2022/>  
書面で失礼いたしますが、何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

## 1. 仕様および料金

No.	仕様	料金
1	(1) 企業展示 1 ブース (2) プログラム集カラー広告1ページ (3) ウェブサイトへのバナー掲載 (外部リンクあり) (4) 懇親会1名様ご招待	200,000円
2	(1) プログラム集カラー広告1ページ (2) 講演幕間動画広告 (60秒) (3) ウェブサイトへのバナー掲載 (外部リンクあり) (4) 懇親会1名様ご招待	150,000円
3	(1) プログラム集白黒広告半ページ (2) 講演幕間動画広告 (30秒) (3) ウェブサイトへの貴社名掲載 (外部リンクなし) (4) 懇親会1名様ご招待	50,000 円

注) 講演幕間広告およびバナーの掲載順に関しては組織委員会に一任とさせていただきますのでご了承ください。

## 2. 要領

### (1) 企業展示ブース

会場内に設ける展示スペースで、1ブースあたり幅2m程度をご利用いただけます。

### (2) プログラム集広告

会場で配布するプログラム集（A4版、発行部数400部見込み）に掲載いたします。

### (3) ウェブサイトへのバナー掲載

本学術集会ホームページのトップページに掲載します。

バナーサイズ：縦 80～100px × 横 160px

バナーデータは貴社でご用意ください。

### (4) 全面オンライン開催へ変更された際の対応

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、現地開催を取りやめ、全面オンライン開催とさせていただきます可能性があります。その場合には、以下の対応とさせていただきますので、予めご了承ください。

- ・企業展示ブース：講演幕間動画広告（60秒）への振替および、差額である5万円／1ブースを返金
- ・プログラム集広告：印刷版を発行取りやめ、web掲載PDF版への振り替え
- ・講演幕間動画広告：変更なし
- ・ウェブサイトへのバナーあるいは貴社名掲載：変更なし
- ・懇親会ご招待：差額の返金なし

## 3. 申込書送付先およびお問い合わせ先

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-11-16

東京大学アイソトープ総合センター 内 APSORC22 組織委員会事務局

桧垣 正吾

E-mail : [info-apsorc22@ric.u-tokyo.ac.jp](mailto:info-apsorc22@ric.u-tokyo.ac.jp)

Tel : 080-3935-5589



# 企業協賛申込書

必要事項をご記入のうえ、**2022年8月1日(月)までに**下記事務局までメールにてお送りください。  
申込書受領後、請求書をお送りいたします。

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-11-16  
東京大学アイソトープ総合センター 内  
APSORC22 組織委員会事務局 桧垣 正吾  
E-mail : info-apsorc22@ric.u-tokyo.ac.jp

該当する項目にチェックしてください。

	No.	料金
<input type="checkbox"/>	1	200,000円
<input type="checkbox"/>	2	150,000円
<input type="checkbox"/>	3	50,000円

お申込日			
貴社名			
ご住所			
郵便番号		国名	日本
ご担当者		お役職	
部署名			
TEL			
E-mail			
合計金額			
備考			